

有害鳥獣焼却施設の整備

笹原委員 町長は駆除した個体の焼却施設を作りたいと発言したが具体案はあるのか。また、設置場所はどこか。
町長 今後置賜3市5町で議論し、設置の方向で準備をしていきたい。わが町も候補地として検討いただきたい。

商工費

企業誘致へ

笹原委員 企業立地調査は、どのような産業を想定しているのか。
当局 製造業等に限り、ほかの業種も含めて検討する。
笹原委員 調査が終わった場所の選定後どういう形で企業誘致するか。
町長 工業団地を準備すると問い合わせがあ

る。業種を絞らず、引き合いがあるのを待ちたい。

農工商観の連携

金田委員 白鷹町産業振興戦略会議構成団体の負担金の3万円は、どのように活用されるのか、会議はどのような内容か。
当局 農工商観連携による6次産業化を推進するものである。具体的には視察研修、賀詞交歓会、戦略会議幹事会の開催による情報交換である。

金田委員 6次産業化推進拠点施設整備事業との関わりはどのようなか。
当局 担当の農林課から説明をいただき、各団体の事務局長で構成する幹事会で協議を行った。

伝統工芸の村

横山委員 のどか村の管理が町直営になるよ

うだが、地域の理解は得られているのか。

当局 地元の深山区などと意見交換したが、のどか村の管理を受けていただけの方を探せず、令和4年度は町が管理を行う。ご理解をいただけるよう説明させていきたい。

横山委員 宿泊やそばの営業は継続するのか。
当局 基本的には旅館、飲食や宿泊業は中止となる。

町長 残念でならない。コロナと高齢化は避けて通れなかった。知恵を絞り、新たな取り組みができるか考えていきたい。

横山委員 古民家での飲食店運営は、移住定住において魅力となる可能性がある。広い視野で取り組みを進めてはどうか。
当局 さまざまな角度から活用を考えたいが、管理運営の部分は慎重に進めたい。

ふるさと納税の新たな返礼品

丸川委員 ふるさと応援事業における新たな返礼品の掘り起こしの具体策はあるか。
当局 各種フルーツやその定期便など、農産物の掘り起こしを行っている。また、工芸品や宿泊プランなども検討している。



土木費

子育て支援住宅と再生可能エネルギー

横山委員 町はゼロカーボンシティ宣言を行った。再生可能エネル

ギーの活用など省エネルギーに向けた取り組みは考えているか。

当局 これからの住宅建設にあたり、省エネルギーハウスなどの検討が重要と考えている。子育て支援住宅と若者定住促進住宅の整備では、高断熱・高気密による快適な空間づくり、効率的な設備によるエネルギー消費の抑制、太陽光などによるエネルギーの創出について、基本設計を行う際に検討したい。

横山委員 エリアで取り組む省エネ住宅についての考え方は。
当局 多様な再生可能エネルギーがあるなか、天候などに影響されにくいバイオマス発電が良いかと考えているが、費用対効果の面も含め、導入すべきか検討したい。

である。今後のエネルギー政策、スマートシティ、コンパクト化の中で施策を検討し、対応を進めている。

民業圧迫を懸念

笹原委員 町内民間アパートの入居率が高くない中、町で家賃の安い住宅を作れば民業の圧迫にならないか。
町長 民業を圧迫しないのが大前提。そのうえで、子育ての時期に限った住宅の提供をしてきた。

笹原委員 民間アパート改修費用の助成は考えていないか。
町長 住宅政策として研究・検討をしていく。

